

## NLMC分類作業時における Webcat の利用について

旭川医科大学附属図書館  
金子 敏

### 1. はじめに

#### 1-1. NC

図書館の業務の中で目録分類という作業は、目録の経験が浅い職員にとってはかなり難しい上に時間をとられる作業の一つである。それは特殊な分類法NLMC (National Library of Medicine Classification) を採用していることが多い医学図書館にとってもおおきな問題である。そこで、分類をつける場合、その資料がNC登録されているならば、lookup holdings コマンドで他機関の所蔵情報を参照し、分類をつける際の参考にすることがよく行われている(図1)。しかし、loo h コマンドだけでは所蔵館のリストが表示されるだけで、分類等の詳細表示にはさらに1件ずつdisplay コマンドを入力しなければならない。現在NLMCを採用している図書館は医学図書館協会による約40館と全国の図書館の数と比較すればかなり少なく、NCにNLMCを所蔵情報として入力している機関となればさらに少なくなるであろう。せっかくNCにヒットし、所蔵館リストを表示させてもお目当ての分類情報を手に入れるためにはかなり苦労することになる。

#### 1-2. Webcat

そこで利用されたのが学術情報センターのWebcatのサービスである。これを使用すると分類を含めた所蔵情報の一覧を表示することができる(図2)。しかし、ヒット件数が1件だけの場合でも必ず簡略表示画面が表示されてしまったり、詳細表示画面では、書誌データがまず表示されるので所蔵データを見るには画面スクロールの必要があったりと使い勝手がよくない。

#### 1-3. 筑波大学Perlスクリプト

Webcatの弱点をカバーするために作られたのが筑波大学のスクリプトである。比較すると、ヒット件数が1件であっても詳細表示画面まで進む。詳細表示では所蔵データの部分が表示される、“q”キーを入力するだけで次のISBN or NCID入力状態に戻れる等数々の利点がある。

#### 1-4. 改良スクリプト

NLMCを使用している機関が実際の業務に筑波大学のスクリプトを利用するとなる

と、1-1でもふれたように他の分類法を採用している図書館の所蔵情報がノイズとなってしまう。そこでWebcatで検索した結果から得た所蔵データから、NLMC使用機関のものだけを抽出するためのスクリプトを筑波大学のものを利用して作成、検証してみることにした。

図1 . NC 検索画面

和図書書誌詳細表示	NC	13/	13
> : loo h			
<BN15759401>			
CRTDT:19970205 CRTFA:FA001823 RNWDT:19970822 RNWFA:FA001652			
GMD: SMD: YEAR:1996 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:			
VOL: ISBN:4260342576 PRICE:3605 円			
TR:死生学：他者の死と自己の死 / 山本俊一著  シイガク：タシノシトジコノシ			
PUB:東京：医学書院，1996.12			
PHYS:xi, 320p ; 21cm			
NOTE:文献： p311-316			
AL:山本， 俊一(1922-)  ヤマモト， シュンイチ<DA00413226>			
CLS:NDC8:490.15			
SH:BSH:生と死  セイトシ//L			
SH:MESH:Thanatology//K			
SH:NDLSH:生死  セイトシ//K			

図2 . Webcat 詳細表示画面

死生学：他者の死と自己の死 / 山本俊一著 . -- (BN15759401)
東京：医学書院，1996.12
xi, 320p ; 21cm
注記：文献： p311-316
I S B N： 4260342576
著者標目：山本， 俊一(1922-)
分類：NDC8：490.15
件名：生と死；Thanatology；生死
所蔵図書館 74
OPU 490.15/YA 00253996
ルーテル 490.14  Y31 10052855
愛知看大 115583
愛媛医短 図 00054161
愛媛大医 490.15/YA 29700011
旭医大 図 WB310/SHI 50152093
杏大医 医図 114.2:Sh89 0010109981
横市大医 100450800
岡大鹿 鹿田図 S104500004539*

## 2 . P e r l スクリプトの作成

### 2-1 . 作成準備

使用マシン           : U N I X ( S u n )  
スクリプト言語       : P e r l v . 5  
テキストエディタ     : M u l e

### 2-2 . スクリプト作成

基礎となるスクリプトは筑波大学で使用しているものをW e b から流用させていただいた。そこに、W e b c a t で検索した結果から得た所蔵館からN L M C 使用館を抽出するためのスクリプトを追加し、完成させた。( 図 3 )

### 2-3 . N L M C 使用館略称リスト作成

N L M C 使用館を抽出するために使用するリスト( 表 1 ) を次のような方法で作成した。

- (1) 医学図書館協会統計( 1987 ) の加盟館分類・目録法一覧からN L M C を使用している図書館をリストアップする。
- (2) 標準的な医学書( 例 : 「標準生理学」等 ) をW e b c a t で検索し、所蔵館を調査する。
- (3) 各所蔵館の分類記号をチェックすることでN L M C 使用館を特定する。  
( N L M C の分類記号はアルファベットと数字を組み合わせたものである。例 : 法医学 : W 7 0 0 )
- (4) 医図協の統計には載っていないが、検索結果N L M C 使用館と推定できるものを追加する。

図 . 3

```
# !/usr/local/bin/perl
# $Id: webcat,v 1.6 1997/04/15 07:25:39 kondou Exp $
# NLMC version: kinwebcat 1998/11/05 kaneko
# 学情セの総合目録検索サービスの URL
$webcat_url = "http://webcat.nacsis.ac.jp";
# ファイルの中身やコマンドの結果を見るページャ
$pager_command = "less";
# 学情セが返してきた結果を一時的に保存する作業用ファイル
$work_file = "/tmp/webcat$$$.html";
# JIS 漢字コードを EUC 漢字コードに変換するためのフィルタコマンド。
# 漢字文字列中に`<'や`>'のコードがあると、HTML::Parse の動作がおかしく
# なるため EUC に変換する必要がある
$code_conv_cmd = "/usr/local/bin/nkf -e";
#
$html_view_command_less = "/usr/local/bin/lynx -dump $work_file | $pager_command";
$html_view_command_lynx = "/usr/local/bin/lynx $work_file";
# N L M C 使用館のリストファイル
$nlim_libs_file = "nlim.data";

#####
require "newgetopt.pl";

&NGetOpt('h', 'help', 'less', 'lynx', 'internal', 'nopager', 'dumb',
        'v', 'version');

if ($opt_h || $opt_help){
    &usage;
}

if ($opt_v || $opt_version){
    &version;
    exit 0;
}

if ($opt_nopager || $opt_dumb){
    $html_view_command_less = $html_view_command_lynx =
        "/usr/local/bin/lynx -dump $work_file";
    $opt_dumb = 1;
}

if ($opt_less || $opt_lynx){
    undef $opt_internal;
} else {
    $opt_internal = 1;
}
}
```

```

require LWP::UserAgent;
require HTTP::Headers;
require HTTP::Request;
require HTTP::Response;

if ($opt_internal){
    require HTML::Parse;
    require HTML::FormatText;
}

#####

open(NLMS, $nlm_libs_file)||die "Can't open $nlm_libs_file";
while(<NLMS>){
    chop;
    next if (/^%#|^$/);
    $nlm_libs{$_} = 1;
}
close(NLMS);

$ua = new LWP::UserAgent;

if ($#ARGV == -1){
    &read_ID_and_display_result_forever;
} else {
    &do_command($ARGV[0]);
    &quit;
}

sub read_ID_and_display_result_forever{
    $command = "";
    while(1){
        print STDERR "Input ISBN or NCID: ";
        $command = <>;
        chop($command);
        &do_command($command);
    }
}

sub do_command{
    my($command) = @_ ;
    if ($command =~ /^q/i){
        &quit;
    } elsif ($command =~ /^v/i){
        &version;
    } elsif ($command =~ /^(ISBN:)?([\%d]+X?)$/i){
        &search_by_isbn($2);
    }
}

```

```

} elsif ($command =~ /^<?([a-z]+%d+X?)>?$/i){
    &search_by_ncid($1);
} elsif ($command =~ /<([a-z]+%d+X?)>/i){
    &search_by_ncid($1);
} elsif ($command =~ /lynx/){
    $opt_lynx = 1; $opt_less = 0; $opt_internal = 0;
} elsif ($command =~ /less/){
    $opt_lynx = 0; $opt_less = 1; $opt_internal = 0;
} elsif ($command =~ /internal/){
    $opt_lynx = 0; $opt_less = 0; $opt_internal = 1;
} elsif ($command =~ /webcat/){
    if ($opt_dumb){
        print STDERR "You can't use lynx in dumb mode%n";
    } else {
        system("lynx $webcat_url/");
    }
} else {
    print STDERR "Type `q' to quit.%n";
}
}

sub search_by_isbn{
    my($isbn) = @_;
    $form = "db=all&title=&auth=&pub=&year=&isbn=$isbn&kenmei=";
    $request = new HTTP::Request 'POST',
        "$webcat_url/cgi-bin/krkproc", undef, $form;
    $response = $ua -> request($request);
    @lines = split("%n", $response->content);
    @hits = grep(/shsproc/, @lines);

    if ($#hits < 0){
        print STDERR "No hits.%n";
        return;
    } elsif ($#hits > 0){
        print STDERR "Too many hits.%n";
        return;
    }

    $hit = @hits[0];

    $hit =~ /%?id=(^[^"]+)/;    # "
    $ncid = $1;
    &search_by_ncid($ncid);
}

sub search_by_ncid{
    my($ncid) = @_;
    $ncid =~ tr/a-z/A-Z/;
    $url = "$webcat_url/cgi-bin/shsproc?id=$ncid";
}

```

```

$request = new HTTP::Request 'GET', $url;
$response = $ua -> request($request);
open(WORK, "| $code_conv_cmd >$work_file")||die "Can't open work file\n";
print WORK $response->content;
close(WORK);

open(TMP, "$work_file");

while(<TMP>){
    chop;
    if (/<a[^>]+>([^\<]+)<\/a>$/s* /){
        $lib_name = $1;
        $bunrui = $';
        if ($nlm_libs{$lib_name}){
            print "lib=$lib_name bunrui=$bunrui\n";
        }
    }
    last if /<\/ol>/;
}
close(TMP);
}

sub quit{
    unlink($work_file);
    exit 0;
}

sub usage{
    print "Usage: webcat [options] [NCID|ISBN]\n\n";
    print
        "See \n",
        "\n\thttp://www.tulips.tsukuba.ac.jp/manuals/cat/common/misc/webcat/\n",
        "for detail.\n";
    exit 0;
}

sub version{
    $version = '$Id: webcat,v 1.6 1997/04/15 07:25:39 kondou Exp $';
    print STDERR $version, "\n";
}

```

# NLMC 使用図書館略称

札医大

旭医大

岩医大

秋大医

群大医

千大亥

東大医

順大

東医齒大

慶大医

東医大

東女医大

慈恵大

昭和大

杏大医

国がん

北里医

北里看

聖マ医

東海大医

新大旭

富医大

金大

金医大

浜医大

滋医大

香医大

日齒大

宮医大

分医大

琉大医



表 1 . N L M C 使用図書館略称リスト

NLMC 使用図書館名	略 称
札幌医科大学附属図書館	札医大
旭川医科大学附属図書館	旭医大
岩手医科大学附属図書館	岩医大
秋田大学附属図書館医学部分館	秋大医
群馬大学附属図書館医学部分館	群大医
千葉大学附属図書館亥鼻分館	千大亥
東京大学医学図書館	東大医
順天堂大学図書館	順 大
東京医科歯科大学附属図書館	東医歯大
慶応義塾大学医学情報センター	慶大医
東京医科大学図書館	東医大
東京女子医科大学図書館	東女医大
東京慈恵会医科大学医学情報センター	慈恵大
昭和大学図書館	昭和大
杏林大学医学図書館	杏大医
国立がんセンター図書館	国がん
北里大学医学図書館	北里医
北里大学看護学部図書館	北里看
聖マリアンナ医科大学附属図書館	聖マ医
東海大学附属図書館伊勢原分館	東海大医
新潟大学附属図書館旭町分館	新大旭
富山医科薬科大学附属図書館	富医大
金沢大学附属図書館医学部分館	金 大
金沢医科大学図書館	金医大
浜松医科大学附属図書館	浜医大
滋賀医科大学附属図書館	滋医大
香川医科大学附属図書館	香医大
日本歯科大学歯学部図書館	日歯大
宮崎医科大学附属図書館	宮医大
大分医科大学附属図書館	分医大
琉球大学附属図書館医学部分館	琉大医

### 3 . 検証

作成したスクリプトを使ってWWW版総合目録データベースを検索し、N L M C 使用館に限定した所蔵情報を表示させ、その所蔵館数と分類種類数をカウントする。

#### 3-1 . 検索

検索対象：出版年鑑（1997）に収録されている医学・薬学部門約 3,000 点から、10 点毎に 1 点ずつ掲載順に抽出した 300 点（文庫、新書、I S B N がないものは除く）。

検索方法：今回作成した P e r l スクリプトを使用する。検索キーには I S B N

を使いNLMC使用所蔵館の一覧を表示させる（図4）。さらにその一覧から所蔵館の数と分類記号の種類数をカウントする。  
 （同じ所蔵館略称で部局が違う場合は所蔵館数にいれない。また、bunruiに資料番号しか入っていない場合は種類数には入れない。）

図4 . 検索例

```

Koshu08% perl kinwebcat.txt
Input ISBN or NCID: 4260342576
Lib=旭医大 bunrui=図 WB310/SHI 50152093
Lib=杏大医 bunrui=医図 114.2:Sh89 0010109981
Lib=金大 bunrui=教保健 490.15:Y19 9700-04231-6
Lib=群大医 bunrui=医分館 W61:Y31 109600848
Lib=慶大医 bunrui=WB310|Y31s 70100100384
Lib=香医大 bunrui=NLMC:W061||YAM 00640466
Lib=札医大 bunrui=図 W820||Y31 00116420
Lib=慈恵大 bunrui=W50/Y310
Lib=滋医大 bunrui=図 W||58||Yam 199701500
Lib=秋大医 bunrui=W50-Y31S 219700351
Lib=新大旭 bunrui=旭分 W61//Y31 2960017104
Lib=聖マ医 bunrui=図 114/Y31 B96-0914
Lib=千大亥 bunrui=亥分 197805775
Lib=東医歯大 bunrui=図 W61||S||9714523 9714523
Lib=東女医大 bunrui=
Lib=東大医 bunrui=図書 W:61:SH 4310574423
Lib=富医大 bunrui=W61||Y31S91000052460
Lib=分医大 bunrui=WB310||S1000092284
Lib=琉大医 bunrui=W5098200696
Input ISBN or NCID:
    
```

### 3-2 . 結果

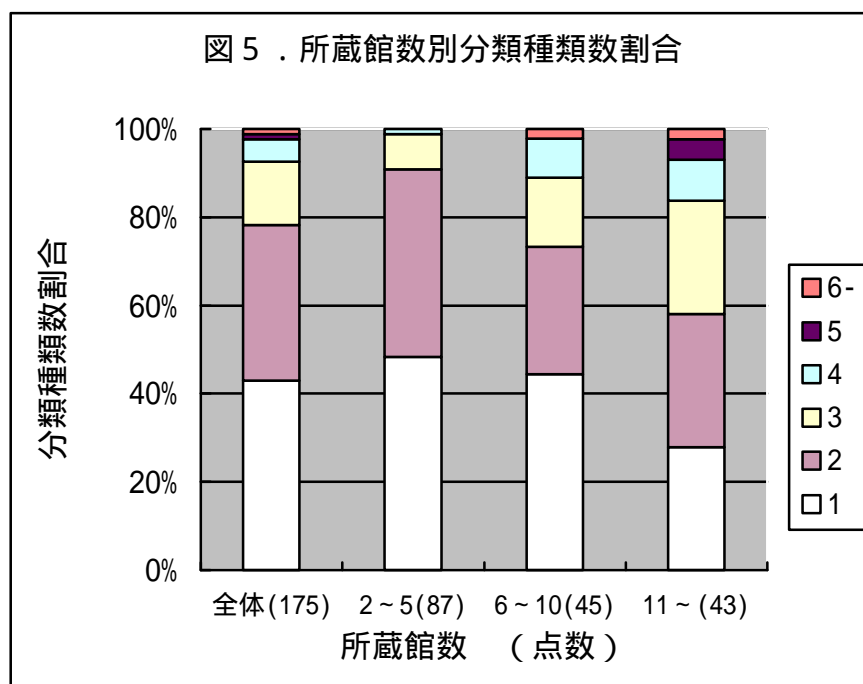
検索結果は表2のとおり。

検 索 結 果	ヒット数
ヒ ッ ト せ ず	2 4
NLMC 使用館以外にヒット	7 8
” 1 館にヒット	2 3
” 2 館以上にヒット	1 7 5
合 計	3 0 0

検索レスポンスは平均5秒程度。

このうち2館以上にヒットした175点について、所蔵館は何館か、何種類の分類記号が付与されているのか調べたところ図5のような結果になった。ヒットした検索対

象の半数以上が2種類以上の分類を与られている。また、所蔵館が多くなるにつれて分類の種類が2種類以上ある割合が大きくなる。



#### 4 . まとめ

ISBN等をカットアンドペーストを使って入力できる等操作が簡単であること、各大学の環境にもよるが今回の結果だけを見ると十分な検索レスポンスが得られたこと、検索画面や所蔵館表示画面がシンプルで見やすいこと、以上のことからこの分類一覧参照スクリプトを使うことによって分類業務の時間を節約することができると思われる。

しかし、NCに分類を登録しているNLMC使用大学等図書館は表1のとおり約30館しかないが、分類の付け方は図4の結果のようにならかなり各館によってばらつきがある。これは各館の担当者によって基準、考え方が多様であるためと推定できる。このことから他館の分類一覧を参考にし分類づけをおこなうには注意が必要である。

また今後は新CATが順次導入されていくであろう。このスクリプトもCATP対応のものにかえていく必要があると思われる。

最後になりましたが、研修の場を整えていただきました学術情報センターの研修課の皆様、スクリプトを作成するにあたり最初から最後までサポートして下さったDB研修生の近藤氏、学術情報センターの鶴沢氏に心から感謝の意を表させていただきます。

#### 5 . 参考文献

- (1) 第58次日本医学図書館協会加盟館統計 (日本医学図書館協会 1987)
- (2) 近藤 務 <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/manuals/cat/common/misc/webcat>